

1. レベル別ルール表

*競技規則・・・2017年～2020年（公財）日本体操協会競技規則（日体協HP確認事項を含む）

レベル	種目	D	参加目安のD得点	申告用紙
チャンピオンの部 シニア	1	身体難度BD 3～9難度（シニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低1回 AD 最低1個	8.0以上	○
チャンピオンの部 ジュニア		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	7.5以上	
8		身体難度BD 3～9難度（シニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低1回 AD 最低1個	7.0点以上	
7		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	6.0～6.9点	
6		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	5.0～5.9点	
5		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	4.0～4.9点	
4		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） R 最低1個 ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	3.0～3.9点	
3		身体難度BD 3～7難度（ジュニアルール） Rは入れないこと ステップシリーズS 最低2回 AD 最低/最高なし	1.0～2.9点台	

※今年度各全道大会において2種目以上で出場していた選手は、レベル5以上に出場すること

※過年度徒手レベル3入賞者は手具レベル4以上に出場すること（レベル3には出られません）

※レベル3のRについて、演技中に実施した場合カウントはしない。また減点もしない。

※レベル3・4については高体連二部ルールを採用する。

徒手レベル	種目	ルール詳細	申告用紙
2		5難度（ジャンプ2 バランス2 ローテーション1）左右同難度 ステップシリーズ最低1個 ①身体難度の右、左を記入・・s⇒動脚を記入 ②ステップシリーズの記号は で記入 ③身体難度に回転や波動を付け加えることができる ④徒手レベル2についてはマルチプルローティションの使用は認めない ⑤難度については若干の許容あり ☆小学3・4年生☆	○
1		3難度（ジャンプ1、バランス1、ローテーション1） ステップシリーズ最低2個 ①6番ルルベバランス（2秒以上） ②垂直とび（連続二回以上） ③ルルベ歩き（前のみ連続最低6歩以上） ④スキップ（最低4歩以上） ※①～④はすべて0.2点 ※①～④は全て単独で行うこと ※ステップシリーズの中に①～④を入れても加点とならない ※同じ難度の繰り返しは無効とする ※アクロバットは難度の前後に行うもののみ加点となる ※指定した難度以外は加点とならない ※申告用紙に記入し提出すること ※記号は別シートを参照。（パソコン入力） ☆未就学児～小学1・2年生☆	

※徒手レベル1・2については高体連二部ルールを採用する

※徒手レベルは指定された学年より上のレベルに出ることは可能だが下のレベルに出ることは禁止

※徒手レベルは規定数以外の難度(0.2以上)を行った場合は0.3の減点とする

団体

レベル	種目	適用ルール	要求難度	申告用紙
Jr	1手具で自由選択	2017年～2020年日本 体操協会競技規則・ 採点規則Jrルール	☆難度（D） ・交換を伴うED（最低3個） ※チャイルドのみ（2～3個） ・交換を伴わないBD（最低3個） ☆ダンスステップコンビネーションS 最低2個 ☆回転と投げを伴ったダイナミック要素R 最高1 ☆関係C 最低4個	○
Sr	自由選択	2017年～2020年日本 体操協会競技規則・ 採点規則Srルール	☆難度（D） ・交換を伴うED（最低4個） ・交換を伴わないBD（最低4個） ☆ダンスステップコンビネーションS 最低1個 ☆回転と投げを伴ったダイナミック要素R 最高1 ☆関係C 最低4個	
徒手団体 ジュニア	徒手	別紙参照		
徒手団体 チャイルド	徒手	別紙参照		

☆徒手団体

2017/11/13

〈人数〉 4人～8人 4人～8人であれば減点無し

〈主旨〉 * 全身を使った正しいフォームの習得を目指す

■点数配分 (D+E)-CJ (18.00点満点)

要素/配分	技術的価値 (D) 8.00点満点 各難度1.0MAX	注意及び関連事項	実施 (E) 10.00 (減点)
①ジャンプ	右で行うジャンプ	0.1～1.0	☆左か右を申告書に記入する(動脚) ☆難度は全員で同時にまたはカノンで実施すること ☆動脚は同じで別難度はOKとし一番低い価値にて実施された難度がその団体の難度価値となる。4～8名の選手が同時に3個またはそれ以上の身体の難度を実施することは許可されず、ノーカウントとする。 ・身体技術
	左で行うジャンプ	0.1～1.0	
	* 片足・両足踏切でも良い・左右自由選択とも別難度で行う 例) 右脚でコサックジャンプ 左脚でしかジャンプ 自由選択でジャンプターン		
	自由選択	0.1～1.0	
②バランス	右で行うバランス	0.1～1.0	
	左で行うバランス	0.1～1.0	
	* バランスは2秒静止 左右自由選択とも別難度で行う 例) 右脚で横バランス 左脚でスケールバランス 自由選択でパッセバランス(動脚)		
	自由選択	0.1～1.0	
③ローテーション	右で行うローテーション	0.1～1.0	
	左で行うローテーション	0.1～1.0	
	* 膝でのピボット・スローターン禁止 左右とも別難度で行う 例) 右脚でパッセローテーション 左脚でアティチュードローテーション(動脚)		
④ダンスステップ コンビネーション	最低1個～最高5個 ※8秒以上あること ※ステップ中のアクロバットは可	0.3	☆ステップシリーズ中にムーブメントのシリーズを実施することを不可とする
⑤連係	C と記入 最低4個	0.2	☆連係は少グループでもOK
⑥ムーブメント	1. ウェーブ(波動)	Aシリーズ 0.3 Bシリーズ 0.4	☆ムーブメントでAシリーズとBシリーズにおいて実施ミスによりシリーズにならなかった場合価値は無くなる。BシリーズでAシリーズになってしまった場合、グレードダウンして評価する ☆ムーブメントのシリーズは ・組織的に同時に実施 ・組織的に素早い連続による実施 ・カノンによる実施 ・コントラストによる実施
	2. スイング(振動)		
	3. ベンディング(屈曲)		
	4. リリース(脱力)		
	5. リーン/ランジェ(傾斜)		
	6. ツイスト(ひねり)		
	7. コントラクション(収縮)		
※1～7の動きを使い、Aシリーズ(2つ組み合わせたもの) Bシリーズ(3つを組み合わせたもの)を各最低1シリーズずつ 入れること 例) Aシリーズ(1+4)を使用したらBシリーズはそれ以外を使用すること			
その他	※プレアクロバットについては、やり方が違えば何度行ってもよい。(価値は無い) ※プレアクロバットはジャンプ・バランス・ローテーション難度に加えるものを除き、同じものの使用不可(ダブル前転などの連続での使用は可)		

※ 徒手団体は申告用紙が必要となります。

※ 上記以外の難度を実施した場合、D審判より一回実施につき0.5減点となる。

2018 ライラックチャレンジ 新体操男子個人競技 レベル別規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。ただし次のレベル別規則を優先とする。

レベル	種目数	難度不足による減点	必要難度について	難度の詳細について	構成点 (満点)	実施点 (満点)	合計点 (満点)	参加制限
レベル7	4	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 D 3 C 2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	~10.0	~10.0	~20.0	制限なし
レベル6	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・2 D 2 C 2 B以上の難度を入れること。	投げ受け・タンブリングともにD難度の技を入れること。	~10.0	~10.0	~20.0	制限なし
レベル5	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 D 3 C 2 Bの難度を入れること。	投げ受け・タンブリングともにC難度以上の技を入れること。かつ、D難度の技を入れること。	~8.0	~10.0	~18.0	制限なし
レベル4	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・3 C 2 Bの難度を入れること。	投げ受け・タンブリングともにC難度以上の技を入れること。	~7.0	~10.0	~17.0	制限なし
レベル3	2	各難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 C 2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	~6.0	~10.0	~16.0	制限なし
レベル2	2	B 難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・2 Bの難度を入れること。	特記事項なし	~5.0	~10.0	~15.0	小学生
レベル1	1	A 難度 1つ不足につき -0.5	・難度の数は自由 ・1 Aの難度を入れること。	特記事項なし	~4.5	~10.0	~14.5	小学生まで

- (1) レベル1に出場する選手は、スティック・リング・ロープ・クラブから1種目を選択すること。
- (2) レベル2~6に参加する選手は、スティック・ロープから1種目、リング・クラブから1種目を選択すること。
- (3) 各レベルの要求された難度の数以上の難度は、ランク下の難度として数えることができるが評価の対象ではない。
- (4) レベル3、レベル4で上位3位になった選手は、次の年は上のレベルに出場しなければならない。
- (5) 前年度参加したレベルより、下のレベルには参加できない。(レベル7を除く)

2018 ライラックチャレンジ 新体操男子団体競技 規則

日本体操協会競技規則および採点規則一部改定を適用する。

高校・一般の部については高体連一部競技規則に準ずる。

小中学生の部についてはジュニア規則に準ずる。

レベル	種目	必要難度について	難度の詳細について	構成点 (満点)	実施点 (満点)	合計点 (満点)	参加制限
-	徒手	D 難度を1つ以上、C 難度を3つ以上、B 難度を2つ以上入れなければならない	特記事項なし	~10.0	~10.0	~20.0	高校生・一般
-	徒手	D 難度を1つ以上、C 難度を2つ以上、B 難度を3つ以上入れなければならない	特記事項なし	~10.0	~10.0	~20.0	小学生・中学生